

総天然色

国立公園

九重の景観

高級印刷
八枚組



小野喜美夫さん（九重
飯田ふるさと資料館）
所有の古い「絵ハガキ」
と「登山地図」
（天然色カラーで見せ
られないのが残念。
16ページに関連記事。

広報

ふたのえ

もくじ

トキを九重から再び日本の大空へ	2	教育委員会だより	12
住民同士も交流し		スクールコンサート	13
一緒に考えたい	5	牛は豊後が日本一	14
正月あちらこちら	6	まちの話題／交通	16
きっと熱気が伝わる	8	新しい議員の顔ぶれ	17
図書館だより	9	くらしの情報	18
保健福祉	10	心の扉／休日当番	20
環境／こちら119	11	歳時記／ふるさと再発見	21
		人の動きふれあいタイム	22

トキを九重から再び日本の大空へ

100年後にトキが舞う地域づくりを……。

杉浦嘉雄先生



トキがこのように少なくなったのは、20世紀の地域づくりが自然をないがしろにしたことが原因。(トキの復活に成功した)中国の洋泉と九重は、雑木林があり、ほだ木があるなど自然環境がそっくりで、生息環境としては十分いけます。そして洋泉と大分は緯度が一緒で物産性や緑を感じます。

そして、この運動を通じて考えたいのは、近頃の子ども達は、感性豊かな子ども自己肯定的ということ。環境問題を教えるにしても、ここまでひどくなっているから、どう解決するか問いかける



飯田高原でトキを呼び戻す運動が始まりました。まずはトキの紹介を。

トキは学名をニッポニア・ニッポン。全長約75cm。翼を広げると約140cm。かつて日本には、ごく普通に見られた鳥でした。里山に巣を構え、近くの田んぼや沢で小魚やタニシ・ドジョウを餌に暮らしていました。しかし明治以降、急激に数を減らし、昭和初期には能登半島や佐渡にわずかに見られるまでに。戦後は、さらにその数を減らし、昭和40年代には、ついに10羽程度まで数を減らしました。その間トキは一九五二年に特別天然記念物に指定され、一九六〇年には国際保護鳥に指定されました。

このように数を減らしたのは、明治以降の乱獲のほか、生息する環境が急激に悪化したことが原因としてあげられます。特に森林の伐採と水田の減少が大きいとされています。

ついに一九八一年、野生のトキは佐渡島に生息する5羽のみとなり、全てを捕獲し、飼育での繁殖が始まりましたが、うまくいかず、現在では日本固有のトキは1羽のみとなり、一九九九年、中国からひとつがいのトキを譲り受け、日本で初めての人工繁殖が成功しました……。

このトキを九重に呼び戻そうというわけです。

のは、夢がないと思います。がっかりするし、むなしくなると思います。環境問題を考えるにしても、夢を感じる仕掛けを地域ぐるみでやってみてほしい。夢のようだけだと本気にしてもらえないような地域を探していました。

トキは本気でやれば戻ります。トキが戻っても迷惑にならないような自然環境を残す。持続可能な地域づくりの証としてのトキを呼び戻してほしいと思います。この熱気なら10年後には、実現するかもしれないね。(談)

昆虫からみる九重町

「九重町は、南と北の昆虫が両方とも観察でき、九州でも特異な地域にある。」

そう語るのは、大分医科大学で昆虫や両生類の研究をしている宮田彬先生。



宮田彬先生

宮田先生は2年ほど前から地蔵原に「九重自然史研究所」を作り、そこで昆虫の観察・採集などを行っています。その一つが蝶の観察。二〇〇〇年10月からこの地域にどれだけの蝶がいるか観察したら、現在まで九三八種が確認されました。最終的には、一五〇〇種から一六〇〇種いるのではないかと、先生は話します。

宮田先生と九重町の縁は古く、約25年前、大分医大に赴任してからのことです。15年前、医大の学生を九重町の民家に預けて自然観察・昆虫採集をさせたこともあるそうです。





発足式がやまなみ牧場会議室で行われました。

まず会の名称をどうするかの話合いです。

最初は飯田高原にトキを呼ぶ会といった候補が挙がりましたが、どうせならスケールを大きく（そして、言った者勝ちというので）「九重トキ復活プロジェクト21」トキを九重から再び日本の大空へ」と決まりました。

そして、高橋さん、時松さんによる研修報告会が始まりました。

非常に充実した内容の報告に、参加したみなさんは、聞き入り、ときおり出てくる珍体験には、大きな笑いが出ていました。

二人が、中国陝西省洋県を訪れたのが、10月11日から18日。野生のトキ観察や飼育センターで研修を行いました。

この20年の間に日本は7羽が1羽に、一方中国では、7羽が三〇〇羽になった。この違いは環境の差が大きいと二人は話します。「トキは東洋の温帯の山間地帯に生息しているが、水田農業と共に生きてきた。中国にはこの環境が整っていたことが大きかったと考えられます。その上で、トキと人間が共存する環境以上にいい環境はないのではなか、そのためにはトキ（そして環境）を守るのだという気持ちを、子ども達を含めた地域の人々で作っていかねばならない。それをボツボツ取り組んでいくことが良いのではないか」と話していました。「カッコウ

の翼だけでなく、トキの翼で中国に研修に行くのも良いのでは」という話も。

また、飼育センターを訪れたとき、そこにある孵卵器の温度設定が不安定なことを知り、日本から孵卵器を送ることを計画。現地の人と約束までして帰ったそうです。

「孵卵器を通じて洋県と九重が姉妹都市の提携ができるかもしれません。今度は町長が孵卵器を持っていきます」と話してきました」と報告し、「見慣れ書も取り寄せました」というと会場は大きな笑いに包まれました。

「環境は祖先からの遺産ではなく、子孫の代からの借り物である」という言葉があります。始まったばかりの試み、この町の未来へ大切なものを残すはずで。



▲プロジェクトチームのみなさん

先生は、蟻と蜂のコレクションもしています。先生が若い頃（一九五一年）から始めたというコレクション、標本箱にして三〇〇以上。六〇〇〇種類に及ぶそうです。日本全国や東南アジアなどから集められました。蟻と蜂の採集を通じて見えてくるのが環境問題です。

「こういつた試みは、一代でなく、あとに伝えていくことが必要です。五〇年、一〇〇年というデータの蓄積を通じて地球温暖化の影響などが見えてきます」と話します。

先述のように先生は、両生類の研究もしています。専門書がたくさん詰まった書棚には、世界中から集めたというカエルの人形が並んでいます。その数一〇〇〇体以上。

先生は、3月に大学を退官。そのあとは、九重町に研究所と展示室が一緒になった施設を作り、児童生徒の理科や生物の学習に役立てたいと話していました。



▲カエルの人形コレクションから

▼蟻・蜂を中心とした標本が300箱以上



ひこばえ交流会

消費者との交流を通じて農と食の大切さを知ってもらおうと、ひこばえ秋の交流会が11月30日から2日間、泉水コミュニティセンターで行われました。今回参加した消費者は大分市や福岡からなど、約30名。

1日目は日を使った昔ながらのきな粉づくりです。昭和30年代前半までは、きな粉を挽く姿は、よく見られたそうですが、最近では「買っもの」になってしまいました。臼を挽きながら盆踊りの口説きが飛び出すなど、楽しい時間を過ごしていました。夜には、交流会を行い、食や農について大いに語り合いました。

「子ども達は、百科事典などを見て野菜の姿を知識として知っていますが、これが実際に畑に出てなっている姿を見ると、不思議そうなんです。こういったことを通じて、食や命の大切さや生き物を大事にする気持ちが育てられると思います」と参加者の一人は話していました。

そして2日目はみそづくり。この日は、ゆであがった大豆に、麦と米との麹を混ぜ、仕込みです。梅雨明けには、おいしいみそができていきます。

みそだけでなく、よい食材をじっくりと調理するスローフードがたっくんです。昼食の「うどん」もそうです。

材料はすべて地元で採れたもの。麺の材料も地元の小麦。ゆっくり味わいたくなるほどのおいしさでした。また、きな粉で作った「やせうま」が県外から来たみなさんに大人気でした。

食事のあとは、ひこばえメンバー時松和弘さんによる中国視察報告が行われました。

(2・3ページ参照)これは飯田高原にトキを復活させるためのもので、時松さんの中国での楽しい体験を交えながらの話し合いは、笑いに包まれていました。また、トキを通じて、持続可能な循環型の地域を作っていくという話に会場のみなさんは深くうなずいていました。

この日はトキ復活プロジェクトの指導をいただいている日本文理大学の杉浦嘉雄先生も参加。先生は、以前からひこばえとの交流があったそうです。

「ひこばえの活動とトキの復活、これからめざす地域は、『環境学・循環型・子ども達への教育』そういったことが横ついでつながっているんですね。九重なら、きつとすばらしい地域づくりが出来ます」杉浦先生はそう話していました。



▲うどんのメンも手作り



▲地元食材100%のうどん



▲みそづくり

「ひこばえ」は平成3(一九九一年)年に結成。安全・安心の農産物をつくり、届けながら、生命をほぐくむ。食の大切さを伝えていきます。

スローフードをお待ちしています。

～メイド・イン・九州～

ふるさとの掌展参加者募集

昔ながらのふるさとの味わいを伝える郷土色豊かな「うまいもん」を募集します。

応募作品

九州域内で作られた農産加工品・水産加工品とする。安全な食品であることはもちろん、地の食材を使うか、伝統の加工法を踏襲したものであること。1日に生産できる個数の目安が30個以上であること。個人・業者、自農・他農は問いません。

部門

①ごはんのとも ②酒のさかな ③3時のおやつ

申し込み方法・場所

応募用紙に必要事項を記入の上、作品に添えて、直接または郵送でヒューマンエナジー研究所まで、1作品につき3個持ち込んでください。

受付期間

3月15日(土)～3月31日(月)

お問い合わせ

モンタン編集部 〒810-0001

福岡市中央区天神2-8-41福岡朝日会館12階

(株)ヒューマンエナジー研究所内

TEL092-737-3300

<http://www.montemps.co.jp/company/>

スローな時代の宝探し

人生の成熟期を迎えた中高年の間では、数年前か「粗食」が見直され、「マクロビオティック」という考え方が広まり、今や「スローフード」という言葉が定着しつつあります。

これは、単なる健康・癒しブームを反映しているのではなく、「心身共にいつまでも健康に暮らしたい」と願う人々の新しい価値観に基づいた「生き方」をも象徴しています。

- 安全なものを食べたい。 ●質のよいものを食べたい。
- 旬のものを食べたい。 ●地のものを食べたい。
- 身体にいいものを食べたい。 ●おいしく食べたい。
- 信頼できる生産者がつくる本物を食べたい。

これらの欲求は、特別なことでしょうか？

いいえ、数十年前までは日本各地のどの食卓でも、この当たり前の食材しか並んでいませんでした。

皮肉なことにモノが溢れる現代は、その当たり前のこと・普通のことを見つけるのが難しい時代です。

見かけは質素でも、昔人の知恵がたくさん詰まったふるさとの食べ物。

そこには料理法ひとつにも、ちゃんと意味があり、健康につながる自然の摂理が隠れているのです。

九州には九州の「おいしい宝」がある。

今こそ、九州各地に埋もれたふるさとの名産品・調理法・加工技術を掘り起こし、その秘められた各地域の特性や歴史・食文化を広く紹介し、保存する時です。

(ふるさとの掌展企画書より)

住民同士も交流し、一緒に考えたい

“玖珠町の明日を考える会”のみなさんが 市町村合併問題で町長と意見交換



玖珠町でも住民による市町村合併問題に取り組む会が出来ました。“玖珠町の明日を考える会”で、玖珠・九重の2町合併の視点に立って議論をすすめています。

現在会員数は19名。代表は八幡の中島芳行さんです。

1月24日、考える会から役員6名のみなさんが坂本町長を訪れ、意見交換を行いました。

まず町長より、これまでの取り組み・合併についての考え方・姿勢を紹介した上で、九重町としては玖珠町を含め広域的大同合併をめざしたいと述べました。

その後意見交換会に入りました。考える会のみなさんからは「玖珠郡任意合併協議会の現状と今後」や「単独で行くことになったときはどうなるのか」と言った質問が出たほか「九重町のまちづくりに魅力を感じている。早く合併して、新しい町(市)に九重町のまちづくりを活かしてほしい」や「まず玖珠・九重の基軸を固めるべきではないか」といった意見が出ていました。

町長は「あくまで玖珠町を含めた合併をめざしているので、玖珠郡任意合併協議会の解散は考えていない。合併は50年・

100年の大計をみてするべきと考えている。合併特例法のリミットである平成17年3月までの合併をもちろんめざしているが、それだけにこだわって将来のまちづくりを考えずに合併すると孫子の代に大きな禍根を残す。合併特例法が失効したあと国は1万人以下の町の権限を縮小するなど、何らかの強制手段に出てくるのではないかとと思われる。合併をせずに単独で行くというの考えていない。合併問題は将来ずっと続くと思う。」と話していました。特例債についても「使いすぎると公債比率が上がり将来事業が出来なくなる」と慎重な姿勢を改めて示しました。

会長の中島芳行さんは「(市制移行型の)16年3月合併に向け、一刻も早く法定協議会を立ち上げてもらいたい。そのためには両町の行政でしっかり話し合ってもらいたいと思います。両町の住民同士も交流し一緒に考えていきたいです」と話していました。

今後考える会はメンバーを増やしていき、さらに議論を深めることになっています。



町民のみなさんと

坂本町長の対話から

Q&A
どうなる？市町村合併

Q 1月の「広報ここのえ」で「町長の最終判断」が掲載されましたが、よく理解できません。「玖珠町を含めて広域的合併をめざす」ということですが、玖珠町は、これに同意しているのですか？
(商業・45歳・男性)

A (町長) 玖珠町は「九重町との二町合併」を最初から結論づけています。これに対して九重町の結論は「玖珠町を含めたもつと大きい合併」としましたので、当然ながら玖珠町と九重町のスタンスに違いがあります。私としては、これから玖珠町に対して「もつと大きい合併」の必要性を訴え理解を求めていくことが今後の取り組みになります。幸い、久住町が同じ構想を持っているようですので、力を合わせながら広域合併の実現に向けて周辺の町に働きかけて行くなどの努力をしたいと思っています。問題は、平成17年3月の合併特例法の期限内にそれが実現可能かということになります。残された2年間で全力を挙げて取り組む覚悟です。しかし、大同合併が難しいという結論が出れば、時と場合によっては志を同じにする町と合併をして、次の再編に向けるという選択肢も検討しなければなりません。いずれにしろ50年の大計に立って、後世に悔いを残すことのないような合併推進をめざして、引き続き努力をします。

あちらこちら



今年で15回目を迎え、すっかりおなじみとなった花火・ザ・宝泉寺が、1月11日に行われました。

このイベントは正月の観光客誘致として始められたもので当時は、九州で初の新春花火大会だったそうです。年々内容が充実しており、今年



▲七草ぞうすいも人気

宝泉寺冬の花火



当日は花火の他に、七草ぞうすいや甘酒・樽酒の振る舞いも行われ、長い行列が出来ていました。

開会行事で、実行委員会を代表して佐藤雄一さん（生竜）は、宝泉寺の歴史を紹介したあと、「このイベントは、どんど焼きで九重ひよつとこ踊りの協力を、甘酒でやよい会の協力をもらっています。冬の夜空、山間の温泉地に感動とロマンと感嘆をきつと与えたいと思います」とあいさつ。

そのあと、仕掛け花火、そして高さ20メートル以上という、どんど焼きに点火、勇壮な跳めに余韻さめやらぬうちに、打ち上げ花火が始まりました。冬の夜空に次々と咲く花火の大輪に訪れたみなさんは、感嘆の声をあげていました。



今年で10回目となる野上地区新春子どもマラソン大会が、1月11日、中村商店街で行われました。「ファミリー及び幼児の0.8km」から「中学生男子・一般の3km」までを144人の子どもの達が元気いっぱいに走りました。開会行事で、この大会の主催者を代表して野上地区青少年健全育成協議会会長の高村由喜夫さん（寺田）は、「こういった大会に出ることは社会参加につながります。大人になったときの社会参加の習慣づけを培ってもらいたい」とあいさつ。野矢小5年生の佐藤明紀君（通上）の選手宣誓のあと、競技に入りました。当日は天候にも恵まれ、絶好のマラソン日和。

マラソンのあとには、おいしいぜんざいも準備されていました。子ども達の歓声が商店街に響き渡っていました。

元旦マラソン



今年も元旦恒例のマラソン大会が、1月1日、小倉神社付近で行われました。この催しも今年で19回目。最初は川東地区の行事だったものが、南山田全体に広がり現在のようになつたそうです。当日も、この大会のために集まった有志のみなさんが運営にあたっていました。選手としてこの日参加したのが、幼児から大人まで約70名。年齢に応じて0.5kmから2kmを走ります。まるで徒競走のように元気いっぱいの走りを見せる子ども達に、応援に来た人から感嘆の声があがっていました。



最年少出場の堀越真浩君（2歳）。滑省中参加。

どんど焼き

正月



▲上の方の白い点は月です



▲中村地区のみなさん

今年も福がやってきた



「やあ、やあ、やあ。我こそは福の神じゃあ〜」。にぎやかな声とともに今年

も豊後七福神会のみなさんによる郡内巡行が行われました。

14回目の今年は1月2日に宝八幡宮を出発。3日間かけて商店街や各施設などを訪れ、福を振りまきました。

1月7日は役場を訪問。巡行の際に集まった浄財を町に寄附しました。

会を代表して岩下恒之さん（川下南）は「継続は力なり、という言葉を実感しています。この巡行によって正月が来たと思ってくれる人が多くいます。たくさんの浄財をいただくなど、暖かい協力に感謝しています」と話していました。今年については「天候のため、急ぎよ、施設訪問の日程が変更になり申し訳なかった」とも話していました。

大黒様（写真の一番後ろで小づちを持っている人）に今年の九重町を特別に占ってもらいました。それによると、今年の九重町は夢の架け橋がかかるそうです。すばらしい1年になりそうです。

小正月の頃、門松や竹、しめ縄などを燃やし、1年間の健康と豊作を願い行われるどんど焼き。町内でも数地区で行われています。今回は南山田中村地区のどんど焼きにおじゃましました。中村地区では8年前、子ども会の行事として始められ、徐々に地区全体の行事となり、現在に至っています。今年は1月12日に行われました。どんど焼きの骨組みは、12月15日に1日がかかりで作成。これを電飾で飾り、クリスマスツリーとしても活用しました。

この地区のどんど焼きは、ぜんざいや焼き鳥などの振る舞いの他、特設ステージを作り、カラオケ大会やビンゴゲームなども楽しめます。「地区全体の親睦を図る場としても、このどんど焼きは貴重」と実行委員会の人は話していました。

すべて竹で作ったという、どんど焼き。燃えさかる炎に、ときおり、パーンという竹の破裂する音が冬の夜空に響いていました。

野上地区新春子どもマラソン大会

▶ファミリ―幼児部門1位の高倉千枝さん（中奥）後ろに見えるのは、母親の千枝さん。千枝さんについていくのがやっとなです。幼稚園まで歩いていっているの、足が酸っぱいと思いましたが、びっくりしました」と話していました。



きっと熱気が伝わる……



星生山の星太郎がいよいよ公開



3月23日（日）午後1:30開演

（午後1:00開場）

前売り券2月20日（木）発売開始！

1,500円（中学生以下500円）

町民ミュージカル「星生山の星太郎」がいよいよみなさんの前に現れます。

ミュージカルとしては、「朝日長者物語」以来のもので、昨年3月より練習を重ねてきました。現在は週3日のほか、休日返上の猛特訓を行っています。

今回のミュージカルの見所は、なんとと言っても全27曲のオリジナル曲とダンス。曲は東映音楽出版に依頼し、プロの作曲家・藤原いくろうさんによるもの。

ダンスは世界的有名なバレエ指導者エフゲーニ・ペトロビッチ・バルーキンさん（ロシア）、さらには、バルーキンさんに教えを受けてきた佐藤容子さん（東京都）による指導を受けました。

脚本は中沢とおるさん、演出は清末典子さん。

この作品は、自然豊かな人里の、ある1日の出来事を描いています。

くじゅう連山のふもとの人里に、ある日突然訪れる都市文明……。それとの闘いを通じて「自分たちは、自分たちの生き方、文化を守っていこう」とする人々の姿を描いています。どこか現代に通じるものを感じます。

また、登場人物全員に個性的な役割を与えていることも特徴です。

舞台装置も九酔溪や震動の滝など、みなさんの見なれた景色が現れます。子どもから大人まで誰もが楽しめる作品です。

オープニングから、ダイナミックかつ繊細な歌とダンスが満載。きっとみなさんの気持ちをとらえます。



一緒に九重町の文化をつくっていきましょう

舞台技術ボランティア講座受講生募集

九重町では、あらゆる文化活動にボランティアとしてかわり、文化情報の発信またはその手助けが出来る人を求めています。

そのための養成講座を開催します。みなさんの参加をお待ちしています。

日 時：平成15年3月18日、19日、23日の3日間。

受 付：午前9時30分～、開会10時～

場 所：九重文化センター会議室／ホール

参加資格：郡内在住者。年齢・性別の制限はありませんが、申込日より先着で10名までとします。また、研修参加後、引き続き九重町の文化事業に協力できる人として

ます。

講座の内容：①照明の理論、②照明プランの作成、③仕込み作業、④実践での効果、⑤公演体験 など

参 加 料：無料。ただし、作業に必要な道具や装備は各自で負担いただきます。

申 し 込 み：九重町生涯学習センター備え付けの参加申込書を提出してください（3月4日締め切り）。

問い合わせ：九重生涯学習センター（九重文化センター内）
TEL.76-3888

主 催：九重町教育委員会 協 力：大分県立芸術会館

図書館だより

ほんの森
2月号

陽光がまぶしくなり、ずいぶんと日脚ものびてきました。あちこちで梅のつぼみがはじけて、日だまりには春の香りが……。

まだかな？……春一番。春を探しに散歩がてら図書館まで足をはこんでみませんか。ウキウキするような本との出会いがきっと待っていますよ。

ところで、貸し出し期限の過ぎた図書館の本は早めにお返し下さい。

春の新しい出発の前にもう一度、本だなの確認をお願いします。

図書館開館時間

平日 10:00～6:00

土・日 9:00～5:00

月・祝 休 み

図書館の本から

ページをめくるだけでも楽しい
心が豊かになる本をピックアップしてみました。



『風と土のカルテ 色平哲郎の軌跡』

山岡淳一郎 著 (498頁・一般書)

長野県南相模村国保直営診療所長・色平哲郎氏の半生を描いたノンフィクション本。田中康夫・長野県知事の若きブレイン、長野と医療の理想を問う改革者として、NHKでドキュメンタリーが放映された人物です。開成〜東大というコースを歩みながら、突然の出奔。医師を目指しなおしたという経歴の持ち主。そんな色平氏を慕って年間200人を超える医学生が、人口1300人の南相模村を訪ね、彼の活動や話に大きな刺激を受けているという。注目の人物です。

『歌BONキッズ 子供と歌おう!』

歌BON編集部 編 (767頁・一般書)

最新曲から名曲まで、親子で楽しめる楽譜集の決定版。ピアノ&ギターのコード表つき、全103曲です。教科書にも載っている名曲はもちろん、「おさかな天国」など話題のヒットソング、テレビの人気アニメや戦隊ヒーローものもたっぷり載っています。さらにミニモニやハロー・プロジェクトのナンバー特集もあります。天気の良い日だって、楽しく歌って遊んじゃおう!!



『昔くお父さんの昔話入門』

小澤俊夫 著 (388頁・一般書)

無名者の「狸太郎」はどうしてお金持ちになれたのか? 「白雪姫」はなぜ三回殺されたのか? 食うか食われるか「三匹の子豚」。忠告はタイミングよく「三本の金髪のある王女」。なんとしてでも生きる「三匹きのやぎのがらがらどん」。昔話に隠されたメッセージと驚くべき語りの法則を説き明かします。生きることの真実=昔話を声に出して子どもに読んでかかせてあげてください。ちなみに著者は指揮者の小澤征爾の兄にして、ミュージシャンの小沢健二の父なんです。



『超! 設立法律大辞典』

行列のできる法律相談所 編 (324頁・一般書)

日本テレビ系番組「行列のできる法律相談所」が一冊の本になりました。いわば法律バラエティブック。目からウロコのケースがマンガやわかりやすい解説で楽しく学べます。「裁判とは言葉と言葉の闘い」であり、この闘いにおいてはスゴい味のある「あげ足とり」が効果的な攻撃となるらしい! うーん、これはトラブルの前に一読しておかねば。

『家事する男の作り方』

百世瑛衣 著 (590頁・一般書)

家事する男性を育てる実践テクニックを伝授する本。血液型や兄弟の数などタイプ別攻略法も紹介しています。「家事は女がするもの」という意識をなくし、男性に家事をする楽しさを教えるという何やらウレシイ本です。これからは男女とも“生活力”が必要になってくる時代……ってことですね。

『最後の記憶』

綾辻行人 著 (913頁・一般書)

森吾の母・千鶴は、50歳の若さながら痴呆症が悪化し、神経科に入院。日ごとに失っていく記憶のなかで、幼いころに体験した「凄まじい恐怖」の記憶だけは消えずに彼女を苦しめているらしい。森吾は母の故郷を訪ね、その記憶の正体を探ろうとするが……。人気ミステリー作家が放つ、7年ぶりの長編小説にして初の本格ホラー小説です。凍えるホラー……ぜひ、ご堪能ください。

『きむらゆういちのバッチン絵本 おいしいな』

木村裕一 著 (Eキ・絵本)

ページをめくると、絵本が飛び出したり隠れたり。思いがけない展開が楽しめる“しかけ絵本”は子供たちに大人気。この絵本は、スライド式になっているページを引っ張ったり戻したりすると、動物たちの口が開いたり、閉じたりする仕組み。例えばクマさんの口を引っ張ると、口の中にバナナやリンゴが現れて、何をたべていたのかわかっちゃう! 同じバッチンシリーズの「だーれだ、だーれだ」は、本がのびて、隠れていた動物がお目見えするしかけに、他の“しかけ絵本”もぜひ!!

『1000円ワインと50のレシピ』

田崎真也 著 (596頁・一般書)

お手頃なワインでも、おいしくいただけるレシピを紹介。世界No.1のソムリエである著者がおすすめする“味”をぜひ、お試下さい。その他、「おいしいチョコレートブック」「食べきりサイズのお菓子」などもあります。

『しなま幻想』

内田康夫 著 (913頁・一般書)

不審な自殺の真相を解く、浅見光彦シリーズの最新刊。来島海峡大橋で投身自殺したとされる母の死に疑問を抱いた少女・村上咲枝は、偶然名探偵・浅見光彦に出会う。浅見は後日、咲枝の母の親友・島崎書代子から詳しく話をきくと、真相を確かめるために瀬戸内しまみ海道へと向かう。「母は殺された?」瀬戸内の海に浮かんだ、少女の疑惑……果たして浅見光彦は希望の光りとなれるのか。



大分県立図書館が
調査研究の
お手伝いをします

大分県立図書館でメールレファレンスサービスが始まりました。レファレンスとは調査相談のことで、利用者の人が調査・研究に必要な資料・情報を入手するのを支援するため、図書館職員が所蔵調査や文献紹介などを行うサービスです。

このサービスがホームページからできるようになりました。

申し込みはホームページ内のメールレファレンス専用フォームで受け付けます。

大分県立図書館ホームページ <http://library.pref.oita.jp/>

メールレファレンスについてのお問い合わせ先

一般的な内容 ☎ 097-546-9971 (調査相談係) 大分県関係の内容 ☎ 097-546-9984 (郷土資料係)



保健・福祉

チャレンジ! KENKO 最優秀賞受賞

大分県は、県民健康づくり計画「生涯健康県おおいた21」を広く県民に周知することともに、健康づくりのための運動習慣を身につけるために「チャレンジ! KENKO-2002」を昨年の9月から12月まで実施しました。9月に参加者を募集し、県内270のグループ（1グループは2人以上）が参加、3ヶ月間の運動を実施しました。九重町では、6グループ、26人が参加いたしました。

270グループの内、九重町の「楽健（たのけん）」（日野由紀子さん・竹枝玲子さん・佐藤純子さん）が最優秀賞になり、1月28日の大分県健康なまちづくり推進大会（別府市）で表彰され、体験発表いたしました。

活動内容を紹介いたします。みなさんも健康づくりのために積極的に運動しましょう。

楽 健

（たのけん）

日野由紀子さんの原稿

● 激しいスポーツは無理だけど、適度に体を動かしたい。

● みんなと楽しみながら筋力をつけたい。

● 肩こり・腰痛・ひざ痛などをできるだけ解消したい。

● 近い場所で運動をしたい。 などなど

楽しみながら、健康な体と心をつくろうよ。

楽しく健康に!!と体操に取り組んでいる会、それが「楽健（たのけん）」です。

体操は、

● バランスよく筋力がつく。

● 誰でもできる。

● 一人でもできる。

● たたみ1～2畳の広さで出来る。

● 道具はいらない。

● むしろ・タオルや椅子など身近な物を利用して出来る。

● だから費用もかからない。

● 何よりケガをしにくい。

より安全な運動だと思います。年齢・性別は関係ナシ。子どもから高齢者の方まで、エプロンがけでも来られる身近な体操の会です。

運動の全く経験のない人も大丈夫!!和気あいあいと手足を鍛えられます。

野矢小学校の体育館で、毎週月曜日、夜8時～10時までリズム体操やマット運動をしています。

会費等はありません。

運動の必要性や有酸素運動のこと、姿勢や呼吸法のこと、筋力のしくみや体脂肪など「身体」の話から時には家族や仕事のことまで仲間と語り合いながらコツコツと健康づくりに励んでいます。

運動は人との競争ではなく、無理をせずに自分のペースで取り組むことが大切です。

また、何かの都合で出来なくても、半年先、1年先に続けているかどうかといった長い目でとらえることが、運動を続ける秘訣ではないでしょうか。

● 足腰が丈夫になった。

● 正座が出来るようになった。

● 身が引き締まった。

● 体が軽くなった。

● 気持ちまで明るくなった。

楽健の仲間達の感想です!今回「チャレンジ! KENKO 2002」の大分県の取組みに楽健も参加しました。

体操にウォーキングも加え、仲間とともに目標を達成し、運動記録表や報告書を提出し、最優秀賞をいただきました。

これからも、あきずに、焦らずに、諦めずに仲間とともに楽しく運動に取り組み健康づくりを目指していきたいと思ひます。

一緒に体操や歩行運動をしたい方は、お気軽にいつでもいらしてください。待ってまーす。

おたずねになりたいことがありましたら

代表 日野由紀子（77-6458）まで、どうぞ。



▲3人の会が今では5人

環境



浄化槽は 維持管理が大切です

浄化槽は公共用水域の水質保全、生活環境の保全を図るうえで効果があり、その維持管理を適正に行うことは重要です。

浄化槽の設置者は、「法定検査」を受けなければならないと浄化槽法で定められています。

「法定検査」には、適正な設置と所定の機能を発揮しているかどうか判定する「7条検査」と毎

年1回定期的に行い、平常の保守点検・清掃が適切に行われているかどうか判定する「11条検査」があります。

これらの「法定検査」を受検するためには、大分県知事の指定する「指定検査機関」に浄化槽の設置者自らが申込をすることが必要です。

河川の汚濁を防ぎ、公衆衛生の向上のために積極的な「法定検査」の受検をお願いします。

法定検査申込先

大分県知事指定検査機関

財団法人 大分県環境管理協会

〒870-1123

大分市大字寒田字下原409番地の40

TEL.097-567-1855

問合せ先 住民課 76-3801



火災・救急件数

平成14年中に、玖珠消防署管内で発生した火災件数は27件で、損害額の合計はおよそ1億1千万円です。

火災は3月～5月が最も多く年間の約半数がこの時期に発生しています。これから火災の発生しやすい季節になりますので、火の取扱いには十分注意してください。

<火災件数>

●建物火災16件 ●林野火災8件 ●車両火災2件 ●その他1件

救急出場件数は961件で947人を救急車で搬送しています。これは郡内の33人に1人が利用したことになります。

救急件数は年々増加傾向にあり、20年間で約2倍に増加しています。

<救急件数>

●急病433件 ●交通事故125件 ●一般負傷142件 ●その他27件

●転院搬送234件

こちら
119番



九重町立 野上小学校



年度途中4名の転入生を迎え129名になった野上小学校の児童たちは、「遊びいっぱい 歌いっぱい 一人一芸 心ひろがる野上っ子」を育ちの合い言葉に、地域や保護者の温かい支援を受けて、元気に学校生活を送っています。学校の諸活動の中から、①「きめ細かな指導体制」 ②「読書ボランティアの活動」の2点について学校生活を紹介します。

1. きめ細やかな指導体制

野上小学校では、平成13年度より少人数授業のための教員が配置され、新学習指導要領の本格実施を前に「2人指導体制」が試行されてきました。

本年度も、少人数のための教員が3人配置され、全学年の算数科、2年生と3年生の国語科を中心にT・T指導（複数指導）体制による授業を行っています。

児童からは、「先生が2人いるので授業がわかりやすい。」と大好評です。保護者には、毎月のオープン・スクール・デーに、T・T指導の授業を参観していただきました。保護者からの感想として、「2人の先生で子ども全体に目が届いていると思った。」「学習に意欲が出てきた。」「それぞれの理解力に応じて細やかに説明、指導で



きるので大変よい。」「子どものつまずきにすぐ対応してもらえるので、つまずきが少なくなった。」などが出され、2人体制がとれることの有り難さをたくさん出していただいています。

2. 読書ボランティア活動

低学年の子どもたちは、木曜日の朝8時30分からの15分間をとっても楽しみにしています。ボランティアのお母さん方が各教室で本の読み聞かせをしてくれる時間だからです。お母さん方は、学校司書さんと打ち合わせをしたり、自分で選書したりして、当日に備えて下さっています。「おばちゃん、今日はどんなお話？」とすぐさま本の世界に入り込んでくる子どもたちに、お母さん方も充実した時間を過ごせる喜びを感じて下さっています。図書便り「ほんだな」の活動紹介で、ボランティアの方の人数も少し増えて、3学期からは高学年にも機会を作るようになりました。

他に、全校職員による縦割り班読み聞かせも毎月1回行っています。

1月25日、野上・野矢小学校3年生同士の交流会がありました。将来中学校で一緒になるので、その前に仲良くなっておこうというもので、1年生の時から続けられ、年1回のペースで行われています。

この日参加したのが野上から25名・野矢から5名と、その家族。竹とんぼやだんご汁づくりを通じて交流をしました。野上小・渡辺先生の「友だちをつくるのが一番大事なめあてです」というあいさつのあと作業に入りました。竹とんぼづくりの先生は高倉啓二さん（中興）。高倉さんは県の「ふるさと一番さん」の認定を受け、昔の遊びの伝承をしています。初めて竹とんぼづくりをする子どもも多く「竹が固くて難しい」と言った感想が聞かれました。

「子ども同士だけでなく、親同士も交流できるので、とてもいいです。この子たちが6年生になるまで続けたいですね」と渡辺先生は話していました。

友だちになろう

～野上・野矢小学校交流会



▲高倉啓二さん

スクールコンサート

中学生に本物のすばらしい音楽を聴いてもらおうと、12月13日、九重文化センターでスクールコンサートが行われました。

開会行事で青盛教育長は、みなさんが前向きな学校生活をしっかり送っていることをうれしく思っているとした上で、「今日は学校生活のがんばりを振り返りながら、気持ちを楽にして音楽を聞いてください」とあいさつ。

今回のコンサートは音楽の授業に和楽器を取り入れたということで、琴と尺八の演奏が行われました。今回演奏されたのは、春の海やサクラサクラといったおなじみの曲の他に現代の作曲家の作った曲も披露。第一線で活躍している4名のみなさんによる優雅でエネルギッシュな演奏に生徒のみなさんは魅了されていました。間に曲の作者や楽器についてのわかりやすい解説や楽器体験コーナーもあり、楽しく、ためになるひとときを過ごすことが出来ました。



暖かいプレゼント

飯田中学校の生徒がアルミ缶を回収、その収益金で亀鶴苑へプレゼントをしました。これは毎年行っており、今年は苑の希望でハロゲンヒーターを買いました。12月17日、このプレゼントを持って苑を訪問しました。この日は生徒全員の手紙も持参。入所者とゲームを楽しむなど、楽しいひとときを過ごしました。

参加した生徒からは、「最初はうまく話せるか不安だったけど、おじいちゃんを忘れんでね、受験がんばってねとか言われてとてもうれしかった」や「言葉に表せないほど優しく、おばあさんが大好きになりました。将来福祉の仕事をしてみたい」といった感想が聞かれました。

このほかに学校では夏休みボランティア研修などを行っています。福祉体験を通じて、生徒の心を育てるため、今後も続けていきたいと話していました。



私たちの力を試させてください。



日田養護学校では、高等部の生徒を中心に教育活動の一環として「現場実習」に取り組んでいます。この現場実習は、社会でのマナー・言葉遣いなどの基本的な態度を身につけることや働くことの厳しさを知ること、労働意欲を高めることなどをねらいとしています。そして学校卒業後の社会参加や支援付き自立の方途を探っています。写真は、

② (体験実習先・職場実習先を探しています)

日田市内の梨園でのひとこまで。昨年の10月では、日田玖珠圏域で旅館や運送業・なし園・製材所・老人ホーム・食品加工業など29事業所で実習をさせていただきました。

お問い合わせいただければ、担当の職員が説明にお伺いします。なお、実習に関する基本的な事項は次のとおりです。

- 実習期間は6月と10月の2期でそれぞれ1週間～3週間の期間で行います。また、時間帯は、おおむね午前9時から午後3時をめぐりにしています。
- 実習期間中は、生徒の実態・仕事内容・現場の状況等に応じて担当の職員が適宜指導・支援を行います。
- 実習中や通勤途中での事故については、日本体育・学校保険センターの扱いとし事業所側の責任を問いません。
- この実習は、学校教育活動の一環ですので謝礼・報酬は一切いたしません。

連絡先 → 0973-24-2000 日本養護学校 福地・吉野

牛は豊後が日本一

玖珠郡畜産品評会100回



▲表彰者のみなさん

明治29年に始まった玖珠郡畜産品評会が本年度で一〇〇回を迎え、その記念大会が12月5日、九重文化センターでありました。

記念大会で主催者代表のあいさつに立ったJA九重町飯田の武田正利組合長は、これまでの歴史を紹介し、先頃行われた第8回和牛能力共進会で、玖珠郡より出品された14頭が優秀な成績をあげたことにもふれ、「今回、全国に豊後牛をアピールできた。一〇〇回を契機に、さらに地域の資源を有効に活用し、豊後牛の名をはせるため、生産者・関係者が一体となり邁進していきたい」とあいさつしました。

また、来賓の日野立明大分県議会議員は、大分の畜産を引っ張っているのは玖珠地区であるとし、肉用牛の価格

がかつてないほど高くなっていることを紹介。関係者が一体となり振興していくことを期待するとあいさつしました。さらに、JA全農大分県本部長の樋口健さんは、「消費者は安全で安心、品質のよいものを求めている。この地区にある広大な草と水、そしてきれいな空気をかみ合わせながら畜産を引っ張ってもらいたい」とあいさつしました。

大会では畜産振興に功労のあった45名を表彰、先日行われた第8回全国和牛能力共進会の報告もスライドで行われました。

開会行事のあとは全国和牛登録協会会長の福原利一さんによる講演「第8回全共とこれからの和牛改良」が行われました。これまでの共進会を振り返りながら、どのような牛が求められているのか説明されました。「傾向と対策」とも言える講演にみなさんは、真剣に耳を傾けていました。

午後には、「地産地消!! 豊後玖珠牛を味わう会」が行われました。これは生産者と消費者が一堂に集まり、お互いが提案する豊後玖珠牛肉を使った料理を試食、豊後玖珠牛の銘柄確立と消費拡大を図ろうというものです。

会場となった九重町体育館には旅館や民宿の女将の会・JAの生産団体等7団体の考えた11の料理が並びました。料理を作った町内旅館の女将さ

んからは、「量が多く、それに立派な肉なのでびっくりしました」という声がかかりました。牛乳による乾杯のあと、さっそく試食会。見る見るうちにテーブルの上の料理がなくなっていました。豊後牛の他、町内で採れたしいたけやキャベツをふんだんに使った料理に会場の人たちから感嘆の声があがっていました。

古くから玖珠郡は西日本屈指の牛の産地とされてきました。近代玖珠牛の名品種の多くが父方のルーツをたどると、鳥取県に行き当たります。今回の全国和牛能力共進会は、二〇〇七年、その鳥取県で開催が予定されています。全共参加に向けて、今からがんばりましょう!



勉強に役立ててください 小学生へ下敷きなどをプレゼント



畜産品評会100回を記念して、特製の下敷きが、町内の小学生にプレゼントされました。この下敷きには牛の写真だけでなく、豊後牛物語や料理なども載っており、楽しいものとなっています。小学校4・5・6

年生に配られます。実行委員の一人は「玖珠は牛の里です。農業・畜産の理解をしてもらいたいと思い、この下敷きを作りました。豊後牛の消費拡大もお願いします」と話していました。

このほか、勉強に役立ててもらおうと記念誌「玖珠郡畜産のあゆみ」(右コーナー参照)も全学校と町立図書館に寄贈されました。

記念誌「玖珠郡畜産のあゆみ」 を発行



玖珠郡畜産品評会100回を記念し、「玖珠郡畜産のあゆみ」が発行されました。この記念誌は全450ページ。名実ともに大分県一の畜産基地を築き上げた先人た

ちが残した資料や記録をもとに6名の編集委員のみなさんが日夜を惜しんで書き上げた力作です。歴史的に貴重な写真もたくさん掲載されており、玖珠郡の畜産の百科事典とも言える充実した内容です。

この本は、5,000円。現在JA玖珠九重富農センターで販売されていますので、お求めください。

ブルーベリーは西日本一

(をめざしています)



林田伝兵衛さん

西日本一のブルーベリー産地化に向けた取り組みが2年目に入りました。

12月13日、産地化に向けたリーダーの育成を行うと、九重町役場にて(株)巨峰ワイン代表取締役の林田伝兵衛さんをお迎えして講演会が行われました。参加者は約80人。林田さんは、ブドウや地元の果物を使ったワインを次々と送り出しています。ブルーベリーワインもその一つ。林田さんはブルーベリーとの出会いなどを紹介。加工を通じて感じた、ものづくりの楽しさ、これが農業の発展を促すのではないだろうか、と語っていました。

この日は長者梅の加工についての講演も行われました。これは、クサボケ(大分弁でタケウメ)の一種。日当たりの良い野

山に自生する低木で、朱色の花が咲き、丸い形の実を付けます。この実は酸味があり渋いものの香りが良く、果実酒として活用されています。中でも飯田高原に自生するものは、香りが高く、特に「長者梅」と名付けられています。

現在、ブルーベリーの作付面積は、約3ヘクタール。今年の植え付けで約10ヘクタールとなります。着々と西日本一の産地づくりが進んでいます。



消防団特別点検

九重町消防団の特別点検が1月8日、栗野河原運動公園で行われました。この日集まった消防団員のみなさんは全部で365名。服装及び機械器具点検が行われたあと、小隊訓練やポンプ操法などの訓練が行われました。

例年、この点検は悪天候に悩まされてきましたが、この日は快晴。一斉放水点検のとき、空高く放たれた水に虹がかかっていました。

続けて行われた表彰では、30年以上勤続した甲斐勝太郎さん(北方上)・時松龍廣さん(北方下)を筆頭に、37名のみなさんが永年勤続者として表彰されたほか、火災消火に功労があったとして4名が表彰されました。

九重町の平成14年の火災発生件数は15件でした。



夜間巡視

年末の火災防止のため、12月24日から30日までの間、町内の消防団のみなさんによる夜間巡視が行われています。

12月26日は町の三役も参加して、夜間巡視を行いました。巡視に先立ち出発式が役場玄関ホールで行われました。あいさつに立った坂本町長は、「今年は火災が多い。我が町から火災を起こさないよう徹底してほしい」と述べ、消防団のみなさんを激励しました。昨年からは、この夜間巡視に警察署署長も参加しており、事故防止を呼びかけています。

この夜もグンと冷え、寒暖計は氷点下を指していました。



まちの話 題

資料満載！九重飯田ふるさと資料館オープン

飯田町の九重飯田ふるさと資料館が2月1日オープンしました。百平方メートルほどのスペースに、古くは数十年前の化石から戦後まで62のテーマを設け、様々な品物が所収しに展示されています。その数約一万点。

この資料館を作ったのは小野喜美夫さん（左の口）。「この村の生い立ち、開発の経緯、発展にかかわった人々の業績を紹介し、地域観光の一助にしたい」と設立を思い立ったそうです。ここに展示してあるものは、商店経営のかたわら、50年以上をかけて集めたもの。「勉強で集めていたら、ここまでになりました」と話す小野さんは、町の文化財調査員も8期つとめています。また、地図や絵はがきなどを出版する仕事をした経験もあり、観光関係の資料が多くみられます（表紙にその一部を紹介しています）。

「観光にたずさわってきた人たちに感謝しなければならい」と思っています。展示することで感謝の気持ちを表しています」と話す小野さん、特に思い入れが深いのが、立石敏雄さんの遺品。登山靴と水筒です。立石さんは福岡で教師の傍ら、九重の自然を愛し、多くの著書を残しています。ある程度の開発は必要だったと思います、とした上で「立石さんが培った自然保護の意志を継いでいかなければ」と思い、遺品を展示しています」と小野さんは話していました。

入館料：高校生以上二〇〇円、小・中学生一〇〇円、飯田地区の人は無料（不定休）



▲小野喜美夫さん

▼立石敏雄さんの遺品



まちの話 題

干し柿が3000個

初冬の風物詩とも言える干し柿。最近ではあまり見かけなくなりました。

豊野本村の森香子さんの庭先に、その干し柿がたくさんありました。

一つの縄に10個の柿をくくりつけ、それが300本以上。壮観な眺めです。

これまで、少しずつ作っていましたが、これだけの量を作ったのは、今回が初めて。「5本柿の木があるけど、もったいなくして作り始め、4人で10日かかりました。

干し始めてから10日くらいで食べられるようになります。

天然の甘みは何ともおいしい干し柿。

今年の秋にチャレンジしてみたいかがでしょうか？



危険な運転による死傷事故は「危険運転致死傷罪」です

飲酒運転やスピード違反・信号無視などによる死傷事故が後を絶ちません。こうした交通ルールを無視した危険な運転行為によって死傷事故を起こしてしまった場合、運転者は通常の交通事故より重い「危険運転致死傷罪」に問われます。死傷事故は、相手や相手の家族を深く傷つけ、自分自身の人生をも大きく変えてしまうものです。「あのとき交通ルールさえ守っていれば…」悲劇が起こった後にそんな後悔をしないためにも、安全運転の基本を常に忘れずにください。

法改正により悪質・危険な運転に対する罰則が強化されています。

危険運転致死傷罪 刑法の改正で「危険運転致死傷罪」が新設

飲酒運転やスピード違反などによる交通事故は、基本的な交通ルールを守っていれば起こらないはずの事故。事故が起こる可能性があることを知りながら、あえてルールを犯し、他人の命を危険にさらす運転行為は、不注意な運転で片づけられるものではありません。

こうした危険な運転行為による死傷事故は、従来、「業務上過失致死傷罪」により処罰されていましたが、さらに厳しく処罰するため、刑法の改正により、「危険運転致死傷罪」が新設されました。

危険運転致死傷罪は、四輪以上の自動車につき、次のような運転行為によって死傷事故を起こした場合に適用されます。

- アルコールまたは薬物の影響により正常な運転が困難な状態での走行
- その走行を制御することが困難な高速度またはその走行を制御する技能を有しないでの走行
- 人または車の通行を妨害する目的で、走行中の自動車の直前に進入し、その他通行中の入または車に著しく接近し、かつ、重大な交通の危険を生じさせる速度での運転
- 赤色信号またはこれに相当する信号をことさらに無視し、かつ、重大な交通の危険を生じさせる速度での運転

交通安全

平成15年町内地区別事故発生状況(単位:件数)

地区別	人身事故		物損事故		計
	死者	負傷者	件数	事故	
東飯田	0	10	3	12	15
野上	0	5	2	10	12
飯田	2	2	2	45	47
南山田	0	5	3	7	10
計	2	22	10	74	84

(平成15年1月末現在)

新しい議員 の顔ぶれ

任期満了に伴う九重町町議会議員選挙の投票が2月2日行われ、開票の結果、次のみなさんが新しい議員となりました。
当日有権者数は9,744名。このうち投票をしたのが8,334名（投票率85.53%）でした。



麻生 盛高
(あそう・もりたか)
無現③



穴井 太輔
(あない・たすけ)
無現③



安部 武己
(あべ・たけみ)
無現⑤



井上 里子
(いのうえ・さとこ)
無元③



梅木 征治
(うめき・せいじ)
無現②



江藤 一幸
(えとう・かずゆき)
無現②



大石 光則
(おおいし・みつのり)
無現②



小川 克巳
(おがわ・かつみ)
無現②



小田大九郎
(おだ・だいこうろう)
無現⑥



河野 範成
(かわの・のりしげ)
無現⑤



坂本 憲治
(さかもと・けんじ)
無新①



佐々木静夫
(ささき・しずお)
無現③



佐藤 勝憲
(さとう・かつのり)
無現②



佐藤 美登
(さとう・よしのり)
無現④



菅原 美好
(すがわら・みよし)
無現④



竹尾 允文
(たけお・みつふみ)
無現②



(敬称略)

(50音順、○数字は当選回数)

「やはり合併問題に関心があります。住民の生活基盤はどこにあるのかというスタンス（立場）をはっきりしてほしいです。地域から出た議員だからこそ、生活圏という住民に近いところで議論してほしいです」
(男性)

「町民の代表だから町民と同じ位置に立ってがんばってもらいたいです」
(女性)

「最優先課題は市町村合併問題です。どういう形が町民にとって良いのか考えて、4月の玖珠町議会選挙後、両町で早急に推進できるような体制を作ってもらいたいです。（両町は）お互いのいいところを出し合えばうまくいくと思います」
(男性)

「選挙に出たときの気持ちを続け、住民の目線に立ち議会を活性化してもらいたいです。今回の選挙戦は名前の連呼ばかりで政策を訴える声が少ないのが気になりました。町民も、議会を傍聴するなどして関心を持ち続けなければならぬと思います」
(女性)

有権者に聞きました
「新しい議会に望むこと」



開票風景



投票日翌日の2月3日には当選証書授与式がありました。写真は初当選の坂本憲治さん。

青年国際交流事業に 参加してみませんか

内閣府では、平成15年度に実施する国際交流事業（「国際青年育成交流23日間」「日中・日韓青年親善交流15～19日間」「世界青年の船43日間」「東南アジア青年の船43日間」）の参加青年を募集しています。

お問い合わせ

内閣府

（青年国際交流担当 ☎ 03-3581-1181）

または大分県青少年・男女共同参画課青少年室

（☎ 097-536-1111 内線3072）まで。

募集期間 平成15年3月1日～4月3日

無料日曜公証法律相談

相談担当 日田公証役場公証人

予約制 平日に事前電話受付します。

（予約電話番号 0973-24-6751）

相談日 （いずれも日曜日）

3月分は、2日と16日

4月分は、6日と20日

場 所 日田公証役場

（日田市田島2丁目 日田市役所前交差点南東角）

相談内容 遺言・相続、高齢者の財産管理、売買、

不動産賃貸借、金銭貸借、離婚など

相談時間 午前9時～午後5時。1組約1時間

当座預金、普通預金、別段預金は、 平成17年3月末まで引き続き 全額保護されます

- ・定期預金等については、これまで同様、元本1,000万円までとその利息等が保護されます。それを超える部分は、破たん金融機関の財産の状況に応じて支払われます。（一部カットされることがあります。）
- ・平成17年4月以降は、当座預金等の利息のつかない預金が全額保護されることになります。
- ・預金保険制度、農漁協系貯蓄金保険制度ともに同様の取扱いがなされます。
- ・詳しくは、金融機関の窓口または預金保険機構、農水産業協同組合貯蓄金保険機構、財務局にお問い合わせください。

金融庁・預金保険機構

住宅金融公庫のローンをご返済中の方へ

ローンの返済でお困りの方（倒産など勤務先の事情により収入が減少した方、家業の不振により収入が減少した方、病気やけがなどにより支出が増加した方等）については、返済月額を軽減する場合があります。

ご返済中の金融機関または住宅金融公庫に、お気軽にご相談下さい。

住宅金融公庫南九州支店 ☎ 096-387-2000

平 日：9：00～17：00

第1、第3日曜：10：00～17：00

所得税の確定申告は 自分で書いてお早めに

平成14年分の所得税の税務署における相談及び申告の受付は、平成15年2月17日（月）から始まります。

申告期限は3月17日（月）ですが、期限間近になりますと税務署の窓口は大変混雑し、長時間お待ちいただくことにもなりかねません。

確定申告書は「所得税の確定申告書の手引き」を参考に、昨年一年間の所得と税額を正しく計算して記載し、お早めに申告と納税を行ってください。確定申告書の提出は郵送でも結構です。

なお、事業所得、不動産所得又は山林所得のある方は、確定申告書に「収支内訳書」を添付することが義務付けられています。

詳しいことは、最寄りの税務署や税務相談室にお気軽にお尋ねください。

（注）個人事業者の方の消費税及び地方消費税の確定申告と納付期限は、3月31日（月）です。

日田税務署 ☎ 0973-23-2136

税務相談室別府分室 ☎ 0973-22-3073

九州電力からのお願い

電線近くの作業をする際は、まず九州電力へ連絡をしてください。

電線近くの作業に御注意!!

労働安全衛生法により、電線近くでの作業は感電防止の措置が義務付けられています。

感電防止の措置が施されていても作業には十分注意してください。

※切れた電線は非常に危険です。絶対に触れないで下さい。

問い合わせ先

九州電力株式会社 日田支店 ☎ 0973-72-2151

九州電力株式会社 日田電力所 ☎ 0973-57-3612

地域発 仕事おこしフォーラムINひた

メインテーマは「地域再生の新たなパワーを求めて!」サブテーマは「住民の手による地域の仕事おこし」「生命力ある農産物をつくる大事さと誇りを」「生命の尊さを知った都市と農村の連携を」です。地域の仕事おこし・まちづくりにかかわる人、そのような仕事・働き方に興味を持つ人、ぜひ参加してください。

日 時 3月9日（日）13：30～16：30

会 場 かんぽの宿日田（日田市庄手中ノ島）

参加費 無料

内 容 （予定）

リレートーク（10名ほど）&ディスカッション

お問い合わせは

☎ 0973-25-5011

（ヘルパーステーション虹の家・高野さん）

貸金業に関する相談や苦情は ☎ 097-534-9055(代表)

【業務時間】 平日の月曜日から金曜日の9:00~17:00まで(土、日、祝日は休み)

【協会事務局へ来訪によるご相談時間】 9:30~16:00(来訪の際には事前のご予約をお願いします。)

金融の専門スタッフがお答えします。1人で悩んでいないで、まずは、お気軽にお電話下さい。

当協会での相談は→無料

主な相談内容です。

- 返済などでお悩みに関するご相談。
- 多重債務、多額債務などでお悩みに関するご相談。
- 保証人や名義貸しなどでお悩みに関するご相談。
- 免許証、保険証、その他証明書などの紛失、盗難などでお悩みに関するご相談。
- 貸し出し禁止の手続きなどに関するご相談。
- 貸金業者との取引上のトラブルや苦情などに関するご相談。
- その他、貸金業などに関するご相談。

悪質な業者にご注意下さい。 ※広告内容が下記内容の物には十分にお気をつけ下さい。

- ガードレール、フェンス、電柱、道路等への携帯電話やフリーダイヤルの電話番号のみ記載している屋外広告物。
- 求人情報誌、スポーツ新聞等で「当社は、絶対に断りません」、「完全無条件融資」、「保証人一切不要」、「多重債務一本化」、「無審査」、「超低利」などといった、あたかも簡単に融資が受けられる内容の広告物。
- 貸金業登録番号が「東京都(1)第〇〇〇〇〇〇号」の貸金業者等で構成された連合チラシ広告やポストに投函されているチラシ、流出名簿によって自宅に送られてくるダイレクトメール等の広告物。

- ◆大分県貸金業協会加盟店以外の広告には、十分にお気をつけ下さい。

広告物の中に「大分県貸金業協会広告承認番号第〇〇〇〇号」が記載してあれば当協会にて承認をした広告物なので安心です。

- ◆また、当協会にて大分県貸金業協会会員のお店であるかの確認をしていただくことも可能です。



当協会は、金融庁・大分県のもとに運営されている公益法人団体です。

社団法人 大分県貸金業協会

〒870-0021

大分市府内町2丁目5番34号JOビル3階

TEL097-534-9055(代表)

FAX097-534-9000

平成15年度 大学奨学生募集

募集人員 1年生約120名

貸与金額(月額)

国・公立		私立	
自宅	32,000円(32,000)	自宅	38,000円(37,000)
自宅外	38,000円(38,000)	自宅外	43,000円(39,000)

()内は短期大学

貸与期間

平成15年4月から在学する学校の正規の最短修業期間。学業成績が著しく低下または所得が著しく増加した場合は打ち切ることがあります。

出願資格

日本国民であって、平成15年4月から起算して過去5年以上大分県内に住所を有する人。

ただし日本育英会大学奨学生候補者は除く等の要件があります。

お問い合わせください。

出願期間 平成15年3月24日(月)~4月21日(月)

郵送の場合当日消印有効

受付及び問い合わせ先 大分県教育庁学校教育課内(財)大分県奨学会

〒870-8503 大分市府内町3-10-1

☎ 097-536-1111(内線5620)

町営住宅入居者募集

募集住宅 書曲改良住宅(1戸)
(松木156-1)

申込・問い合わせ先

役場建設課(76-3811)

申込期限 平成15年3月7日(金)

JRからお知らせ

3月15日JRのダイヤが変わります
内容

- ①豊後森~日田間の増発
 - ②高性能車両(200系)の導入
 - ③一部ワンマン列車にトイレ設置
(上り下り普通列車各7本のうち4本導入)
 - ④夕方のダイヤ改善
- ※詳細については新しい時刻表をご覧ください。

お問い合わせ先

豊後中村駅(77-6824)

豊後森駅(72-1033)

今月の
年金相談

日時 2月25日(火)10:00~15:00

場所 九重町役場1階・102会議室

今月の納税
納期限2月28日

【国民健康保険税】2月分

人権
心の扉
NO.100

知らなかった人・
見えなかった人

「同和問題」を通して出会った「天上天下唯我独尊」という言葉と、「人の世に熱あれ、人間に光りあれ」というこのふたつの言葉は、畢竟するに徹底して私自身の自己中心的な生き方（意識）を革新していく指針という意味を持っています。それはたとえば、私たちはこの世に単独で生きている訳ではありませんし、気づいてみれば、この地球上に自然の生態系も含めて、いろんな人々と関係し合っている生きています。しかも、その今は過去に責任を持ち、未来に責任を持つ歴史的・社会的な今としてあ

同和問題を通して

高藤英利

る以上、私たちは歴史と社会とを無関係に生きるということはありえないように思えます。
最近、そのことをあらためて教えられたのが、「神の子たち」というタイトル

のドキュメント映画でした。フィリピンの巨大なバヤタスゴミ捨て場で、死や病と戦いながらわずかな資源ゴミを拾い、家族の絆を必死で守りながら生計を立てて生きている人々の姿を記録したこの映画は、国境な

き医師団のドミニク・レギエイエという一人の医師に次のような短い、そして的確な言葉を語らせました。それは、「この映像に写っているのは他人の悲劇ではない。手を差し伸べなかった我々の冷酷さである。」という厳しい一言でした。
私たちはよく、人間はすべて平等だとか、人の命は地球よりも重いか、みんな同じ命を生きているとか、いつも語り合ったりしますが、そのような言葉の影には、じつは私たちが「知らなかった人・見えなかった人」がどれだけ深く傷つき、悲しみを抱きながら生きておられるのか、そのことをまず、私たちはしっかりと自覚していくことが大切ないように思います。私自身この映画を観るまではそのような自覚がないままに、「平和・平等・人権」といった言葉を軽率に使ってきたように思います。「平和・平等・人権」は、そこから最も遠い存在の人と向き合うことから、本当の歩みが始まっていくように思います。

＝平成15年2月・3月休日当番＝

病	月	日	医療機関名	住 所	電 話
院	2月	23日	長内科小児科胃腸科医院	春日町	72-2143
			麻生消化器科内科医院	山 田	72-7100
	3月	2日	三池循環器科内科医院	塚 脇	72-6101
			友成(町田)医院	町 田	78-8811
		9日	玖 珠 記 念 病 院	塚 脇	72-1127
		16日	井 上 医 院	恵 良	76-2711
			北山田クリニック	北 山 田	73-2030
		21日	友成(産婦人科)医院	塚 脇	72-0330
			武 田 医 院	森	72-0170
		23日	小 中 病 院	塚 脇	72-2167
			飯田高原診療所	飯 田	79-2138

月	日	医療機関名	住 所	電 話
2月	23日	たしろ歯科医院	塚 脇	72-3838
3月	2日	合原歯科医院	日田市	0973-22-5305
	9日	(日田)相良歯科医院	日田市	0973-24-0580
	16日	高田歯科医院	日田市	0973-22-4918
	21日	長尾歯科医院	玖珠町	72-7122
	23日	近 藤 歯 科	日田市	0973-24-6080

月	日	獣医師名	電 話
2月	16日	佐 藤 獣 医	77-6448
3月	1日・9日・22日		
2月	23日	山 本 獣 医	78-9101
3月	8日・16日・23日		
2月	22日	甲 斐 獣 医	76-3324
3月	2日・15日・21日		

月	日	店 名	月	日	店 名
2月	23日	森 石 油	3月	2日	小 幡 石 油
				9日	河 野 石 油
				16日	竹 尾 石 油

備考 大分県中西部農業共済組合 ☎3409
休日当番の電話番号(携帯)は090-5721-8191

★都合で変更する場合があります 玖珠消防署：● 救急は119番 ☎72-2141 ● 火災の確認は ☎72-5100

歳時記

季題

3月号

「猫の恋」「青む」

「野火」又は「野焼」

(2月24日締切)

4月号

「春」「桜(花)」

「朧(おぼろ)」

(3月25日締切)

今月の季題

「日脚伸ぶ」

「まんさく」「余寒」



「お茶を呑むひととき増えて日脚伸ぶ」お茶時のゆとりを日脚にかけた佳句。「まんさくや曾孫の笑うあいらしさ」曾孫の笑みはまんさくの華やいだ可愛さそのもの。立春を過ぎた今、日の光は強く日脚は伸び切っている。しかし寒さの残る余寒の時季でもある。

選者 麻生 良昭

このコーナーは町民どなたでも応募できます。ハガキに作品名と住所、氏名、電話番号をお書きのうえ企画調整課広報係までご応募を。

お茶を呑むひととき増えて日脚伸ぶ
まんさくや曾孫の笑うあいらしさ
一輪のまんさく生けて縁起呼ぶ
十日恵比須開始どきにも日脚伸ぶ
大仏の顔にこやかに日脚伸ぶ
日脚伸び隣の猫も屋根の上
家の影短かくなりて日脚伸ぶ
日脚のび青野の里に夕映えて
子等の声野面を跳ねて日脚伸ぶ
昨日より今日の軒端に日脚伸ぶ
下校児の漫画立ち読み日脚伸ぶ
日脚のぶバス停までの徒歩もよし
日脚伸ぶ主婦にゆとりの小買物
月番のはだにつたわる余寒かな
まんさくの古葉に抱かれ茶やぎし

赤峰 幸子
井上 マキ
穴井久美子
原田 勝子
佐藤 節代
佐藤 修正
佐藤 元八
岩尾 奈加
的場 律枝
小野十三日
清竹 勇蔵
甲斐 和子
玉井多喜子
藤澤 節子
選者 吟

添削がありますのでご了承ください。 広報

このえ 時間旅行

ふるさと再発見 104

町村合併～九重町の誕生まで④

文化財調査員 甲斐素純

山田の間に挟まれた地域で、同じく旧山田郷であったので（ただし塚脇は、かつて古後郷と長野荘に分かれ、また大隈は帆足郷であった）、中山田村と名付けてもおかしくなかった。しかしかつて山田村になる前に中山田村という村名もあり、玖珠のシンボル万年山の名をとって千年・万年も栄えるようにと、この良き名を村名にしたものと考えられる。

「東飯田村」は、右田・恵良・松木がかつて「飯田郷」に属していたことから、名付けられたものであろう。前回記した飯田村の地域と、この東飯田村の地域とを地図上で確認すると、東飯田地域は飯田村の北側に位置する。このことからすると、北飯田村としても良かったことになる。

またその逆で飯田村が南飯田村と称することも可能であったが、南山田村との関連もあり、南飯田村と南山田村が接すると混乱するので、どこかで村名を調停したものと考えられる。

ところで、大字松木川上の松木川左岸に「字飯田」があり、おそらくここが飯田郷の地名発祥の地であり、豊後清原一族の飯田氏の名字発生の地でもある。ゆえに本来からいくと、かつての東飯田村は飯田村と命名されてもおかしくなかったと言える。



▲旧東飯田村及び九重町役場が置かれていた恵良集落(宝山妙見宮より遠望)

人の動き

お悔やみ申し上げます

おめでとうございます

出生

おなまえ	年齢	行政区
湯浅 秀喜	77	木納水
木村 夕工	77	宝寺内
武石 峰男	89	後河内
小野 貞雄	70	後河内
小野 ス工	83	金河内
伊東 政人	83	日向山
甲斐 長蔵	93	北下北
松本 三郎	88	川下北
小野 邦光	73	田尻上
小田 吉和	19	中筋湯
田浦 マ工	19	中筋湯
帯刀 タマ	82	中筋湯
岡本 ハルコ	89	中筋湯
内恵 アツ子	58	中筋湯
加藤 三枝	76	中筋湯
結方 修次	30	中筋湯
藤近 マサコ	84	中筋湯
甲斐 スミエ	81	中筋湯

1月1日～1月31日届出分

人口と世帯

人口 11,935 人 (-18)
男 5,698 人 (-10)
女 6,237 人 (-8)
世帯 3,875 (±0)
() は前月との増減

おなまえ	性別	保護者	行政区
梅木 琳愛	女	直基	筋湯
原田 宗英	男	貞治	下旦三
若杉野乃花	女	康宏	口の園
田吹葉々子	女	利明	木納水
石原 侑俊	男	幹	野上住宅
野口 望	女	龍馬	日向上
左藤 過太	男	啓三	後河内

訂正とお詫び

1月号16ページ「スキーウェアをプレゼント」文中、「宿が一軒」とありますが正しくは「宿が一軒」です。訂正してお詫びします。

写すぞ！おおいた・ミックス誌上写真展作品大募集

大自然・伝統芸能・祭り・人々の暮らし……写真を通じてふるさと・おおいたを発見してみませんか？センスがきらりの作品をお待ちしています。

- 今回のテーマ「春の訪れ」(県内撮影に限ります)
- 応募資格 写真に興味を持っている一般・学生・高校生。アマチュアに限る。
- 作品の規格 カラー2Lサイズのプリント写真。デジカメ作品可(必ずプリントしてください。)ひとり5枚以内。写真の裏に題名・撮影場所を記した用紙を貼ってください。未発表のものに限ります。応募作品はお返ししません。
- 送り先 住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記して次のところまで
〒870-8605 大分市府内町3-9-15 大分合同新聞社 ミックス編集部
- しめ切り 3月20日(木)必着

町長と語る ふれあいタイム

3月 8日
(第2土曜日)
3月 22日
(第4土曜日)

3月のお知らせ

午前10時から午後4時まで。
九重町役場で行います。
お気軽においでください。

今月は一〇〇年後にトキを呼び戻す運動など、ゆっくりと事を進める話題が盛り込まれた。今から一〇〇年前、国内では翌年の開戦に向けて日露関係が緊迫。その一方で幸徳秋水らが非戦論を展開、「平民新聞」を創刊。「人生不可解」という言葉がはやりました。海外ではパブロフが条件反射を発見し、キューリー夫人がノーベル物理学賞受賞。フォード社が創立。自動車時代の幕開けです。そしてライト兄弟の人類初の動力飛行の成功。当時の日本人からすると、普通に乗る車を持ち、世界中を飛行機で飛び回る生活は常識を越えたことだったに違いありません。●ところで優秀なアドバイザー(助言者)の条件とはなんだろう。それは「ボーンと背中を押してあげられる人」だそう。世の中は完璧な人ばかり。そんな人だつて迷うものです。あれこれ考え抜いた末での結論でも「これでいいのだろうか」という迷いは残ります。そのとき「それでいい」とはつまり言っている人は、それが優秀なアドバイザーです。さて市町村合併問題。最後にボーンと背中を押してくれるアドバイザー。それはやっぱり住民のみなさんです。この問題も「完璧な」選択肢はないと思います。いろいろな考え方が出ています。ただ、これまでの歴史からみて次のようなことが言えるかもしれません。「常識を越えたことが次の時代を作ってきた」(竹尾)

関連！なんでも鑑定団鑑定依頼品募集！

5月4日(日)、「関連！なんでも鑑定団 出張鑑定inビッグアイ」が、おおいた緑・香り 夢フェスタ03会場で行われます。ただ今鑑定依頼品を募集しています。

問い合わせ先 テレビ大分放送事業部
なんでも鑑定団係 ☎097-537-5515
申込書は役場企画調整課にあります。

※おおいた緑・香り 夢フェスタ03は4月28日～6月29日、ビッグアイを主会場に行われます。ただ今くじ付き前売券を発売中です。企画調整課にお問い合わせください。

編集後記

町の面積 271.41km² / 町の木 くぬぎ 花 ミヤマキリシマ 鳥 カッコウ

資源保護のため広報ここのえは古紙配合率100%の再生紙を使用しています。R100